

そよかぜ

第26号

発行：平成26年11月17日
発行責任者：病院長 安藤秀男
編集：中津川市民病院広報委員会

地域包括ケア病棟を

開設いたしました

病院長 安藤 秀男

中津川市民病院では、平成26年11月1日より「地域包括ケア病棟」を開設いたしました。近年厚生労働省は、病院に対して入院期間を短くするよう強く指導をしております。このため長期入院が難しく、急性期（手術や投薬などが必要な発病後早期の時期）の治療が終了し、病状が安定すると退院や回復期病院等への転院をいただいております。しかしながら、治療終了後も当院での入院を希望される患者様も多くいらっしゃいます。「地域包括ケア病棟」の開設により、入院の継続が可能となりました。



今後日本は、超高齢社会が進んでいきますので、病院や施設だけでは、医療・介護は支えきれなくなります。このため高齢の方々を地域社会全体で支える医療・介護の仕組みの整備が必要となります。これには在宅医療の充実が不可欠ですが、この在宅（慢性期）と急性期の間を隙間なく

埋める医療も求められます。当院は、この役割の一部を担うため、「急性期治療後の在宅復帰を目指す患者様の病棟」を40床で開設しました。入院早期から「在宅復帰支援計画」を作成し、主治医、看護師、薬剤師、管理栄養士、リハビリ担当技師、ソーシャルワーカー、在宅復帰支援担当者などの医療スタッフが協力し、ご家族とのご相談や準備を行うてまいります。

「地域包括ケア病棟」では、次のような患者様に入院していただいております。

- ① 急性期の治療により状態は改善したが、当院にてもう少し経過観察が必要な方
- ② 急性期の治療により病状が安定し、在宅復帰に向けてリハビリテーションが必要な方
- ③ ご自宅での生活にあたり準備に時間が必要な方
- ④ 回復期病院等や介護施設への転院に伴う不安のある方

地域の皆様が少しでも安心していただけるための新しい試みの病棟ですので、開設にあたりお願いもがございます。地域包括ケア病棟の入院期間は状況に応じ調整いたしますが、厚生労働省により最大60日までと決められております。また地域包括ケア病棟利用時には、急性期病棟から地域包括ケア病棟へ病棟が変わります。地域包括ケア病棟入院中に体調不良となった場合には、逆に地域包括ケア病棟から急性期病棟に変わる場合もございます。入院中に病棟が変わり、環境が変わることは大変かと存じますが、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

まだまだ努力が必要ですが、中津川市民病院は、超高齢社会の中で、地域のニーズに応えるため、地域の関係機関と連携し、今後も地域医療に貢献する取り組みを着実に進めてまいります。

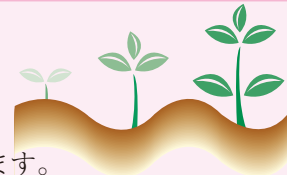
「×ディカルキッズ中津川」を開催しました！

子ども達や市民の皆様には医療への興味、関心を高めて頂くため、中津川市地域総合医療センターでは、中津川市民病院、中津川市健康福祉部、名古屋大学、中京学院大学看護学部、愛知学院大学薬学部、学生医療系サークルなど多くのボランティアのご協力の下、7/26に小学生対象医療体験プログラム「メディカルキッズ中津川」を行いました。多くの応募があり、市内の小学6年生24名が参加されました。白衣、聴診器など実際の医療現場で使用しているものを使いながら、診療、看護、薬剤トレーニング、模擬診察を通して、医師、看護師、薬剤師の仕事を体験して頂きました。また普段見ることができない病院内も探検して頂きました。今回の体験を通じて、参加した子ども達が将来中津川市の地域医療を担ってくれることを期待しています。当センターとしても、今回の学生を含む多職種（医療系、非医療系）のボランティアとの関わりを、中津川市の地域包括ケアの基盤形成に役立てていきたいと思っております。



中津川市地域総合医療センター
副センター長 高橋春光

高校生「ふれあい看護・職業体験」 中学生「職場体験」の実施

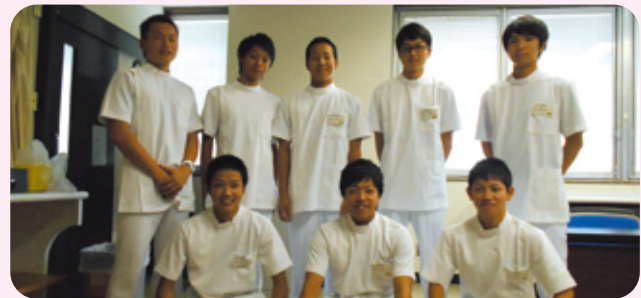


5月は「看護の日」の行事として一般の方、高校生を対象に実施しています。

8月は高校3年生を主な対象として実施しています。看護体験は看護業務や、患者様とのコミュニケーションの取り方、看護師の業務見学を通して看護の道を目指してくれる事を願い行っています。職業体験は薬剤部、放射線科、検査科、リハビリテーション部門の仕事内容の見学になりますが、病院の雰囲気も体験してもらえます。

中学生の職場体験は8月～10月にかけて体験学習の場を提供しています。

- 平成26年5月8日
高校生 5名 ふれあい看護体験
- 平成26年8月6日、7日
高校生 44名 ふれあい看護・職業体験
- 平成26年8月4、5日：4名 中学生職場体験
- 平成26年10月22、23日、11月20、21日に
中学生職場体験実施予定



医師・看護師確保のためのセミナーを 今年も行いました

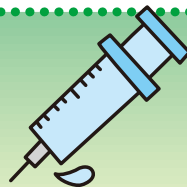
「中津川市は遠い」というイメージが東海地方の医師や看護師、医学生や看護学生に強くあり、当院への就職に二の足を踏む理由となっています。しかし一度でも当地に足を運ぶと、『考えていたほど遠くなく、不便でもない』とよく言われます。そこで、医学生や看護学生が当地を訪れるよう、毎年セミナーを開催しております。今年は8月23日に医学生向けの「スキルアップセミナー」と看護学生向けの「看護師のたまごセミナー」を同時開催いたしました。

スキルアップセミナーは、医学生に、将来必要となる手技を徹底的に実習していただき、手技の勘と自信を持っていただくセミナーです。平成23年以来毎年このセミナーは行われ、今年は全国(主に東海地方)から19名の医学生が参加しました。また看護師のたまごセミナーは看護学生の不安や悩みを当院の若手看護師が相談にのるなど、看護師になった時に役立つ知識の講習を行うもので、9名の看護学生が参加しました。これらのセミナーの成果として、医学生・看護学生が、実際に医師・看護師として当院に就職しております。

病院長 安藤秀男

インフルエンザ予防接種について

今年もインフルエンザのシーズンがやってきます。
今回はワクチン接種についてご案内します。



インフルエンザの発症を予防するためにワクチン接種が推奨されています。ところが、インフルエンザワクチンが感染を防ぐ効果は、残念ながら100%ではありません。しかし、インフルエンザの発症を予防する効能と、インフルエンザによる肺炎や脳炎など重症になることを抑える効果があります。ワクチンの効果は、接種後2週間から5カ月程度と考えられており、日本ではインフルエンザの流行は12月～3月頃であることから、12月中旬には接種を終えていることが望ましいとされています。

特に、小児、65歳以上の方、心臓・腎臓・肺などの疾患のある方は、インフルエンザにかかると重症になることもあり、ワクチン接種をお勧めします。現在通院中の方、アレルギーのある方は主治医や医療機関にご相談ください。

インフルエンザ予防接種のご案内

中津川市民病院では、下記の要領でインフルエンザワクチンの接種を行います。

大人（高校生以上）

- ◆ 当院へ現在、通院されている方
接種の期間：平成26年10月20日(月)～ ※土・日・祝日を除く
・各診療科へ受診時にご相談ください。(心療精神科・眼科・歯科口腔外科では接種を行いません。)
- ◆ 当院へ初めてかかる方（診察券をお持ちで、現在通院されていない方を含む）
接種の期間：平成26年10月22日(水) ～ 12月24日(水)
接種の日時：水曜日14時00分～15時00分（1日20人まで）
接種の場所：内科外来
・電話にて予約をお取りください。（☎0573-66-1601 平日14時00分～17時00分）
（診察券がある方は、あらかじめご用意いただきお電話をお掛けください。）
・電話が混み合う場合がございますので、しばらくお待ちいただいてからお掛け直してください。
・予約状況により、希望される期日に接種できない場合がありますので、ご了承ください。
※費用は自己負担となります。（4,320円）
※高齢者の方は各市町村より補助（公費負担）が受けられます。
補助についての詳細は、お住まいの各市町村にお問合わせください。

子ども（生後6ヶ月から中学生まで）

- 接種開始日：平成26年10月22日(水)～
接種の日時：水曜日 15時00分～（1日40人まで・受付は15時15分まで）
接種の場所：小児科外来
- ◆ 来院時の予約 小児科外来の受付にて予約をしてください。
 - ◆ 電話での予約
電話予約は平日15時00分～16時30分までにお願いします。電話交換にて「子どものインフルエンザ予防接種の予約」とお伝えください。（☎66-1251 小児科外来）
・電話が混み合う場合がございますので、しばらくお待ちいただいてからお掛け直してください。
※完全予約制となります。当院にかかれたことのない方は、来院のうえ予約をお願いします。
※1回目を11/26までに接種できない場合、2回目の補助が受けられません。
※原則的に小児は2回の接種が必要です。13歳以上の方は1回のみ接種も可能です。
※費用は自己負担となります。（1回目4,320円 2回目2,160円）
※中津川市・恵那市の方で1歳から中学生までの方は、補助（公費負担）が受けられます。
補助についての詳細は、各市にお問合わせください。
※当院で確保したワクチンがなくなり次第予約を終了いたしますので、早めの予約・接種をお願いいたします。

お問い合わせ先）中津川市民病院 ☎0573-66-1251（代）

現在、かかりつけの外来診療科へお問い合わせください。

（小児の方は小児科外来・当院へ初めてまたは現在通院されていない方は内科外来）

ドクターカー（事業）始動

～医師の早期処置により重篤な患者様の救命や後遺症の軽減につながることを期待して～
平成26年3月より中津川市でドクターカーの運用が開始されました。

運用方法は、医師や看護師等が医療器具・医療資器材・薬品を積んだ緊急車両（フォレスター）を、自ら運転して傷病者の所へ駆けつけ、治療をいち早く開始するというものです。

中津川市消防署との間で決められた「キーワード」に該当する傷病者が発生した場合、救急車の出動とほぼ同時にドクターカーが、救急現場へ駆けつけます。

「キーワード」は、突然心臓が止まった場合や、崖から転落した場合など、速やかに医師が駆けつけ早期から治療を開始した方がよい状態の場合を設定しています。

これまででも、消防署の救急救命士によりある程度の処置を行うことはできましたが、救急救命士の医療処置には限界があります。ドクターカーの導入により、早期から医師・看護師が医療処置を実施することで、救命処置（人工呼吸・点滴・チューブの挿入・薬剤投与）が可能になり、その処置範囲は大きく広がることとなります。

この半年間で、161件の出動を行っております。これらの出動により、重篤な状態の患者様の救命や後遺症の軽減に努めることができました。今後もスタッフ一同、精進してまいります。

ドクターカーの担当医師等は、24時間体制でいつでも出動できるような準備をし、市内で生活をしています。飲食店やコンビニ・本屋さんなどで見かけることがあるかと思いますが、応援よろしくお願ひします。



糖尿病教室のお知らせ

平成26年7月9日(水)、午後3時から神経内科 今村医師による「糖尿病と脳梗塞」の糖尿病教室（応用編）を開催しました。

次回教室（応用編）予定

平成26年11月12日(水)

午後3時から

多目的ルーム（健康管理センター横）

講師 循環器内科医師

テーマ『糖尿病と心臓病』

予約・費用は不要です。ぜひお越しください。

毎月第1、第3火曜日に糖尿病教室（入門編）を開催しております。



♪今後の教室（応用編）予定♪

平成27年1月13日(水) 歯科口腔外科医師

平成27年3月11日(水) 腎臓内科医師

お問合せ先 総合病院中津川市民病院（☎0573-66-1251（代表））

担当 糖尿病委員会

林 泰子（検査科）・勝 美佳（薬剤部）・成瀬 美保子（看護師）

「病院機能評価 一般病院2 <3rdG:Ver.1.0> の受審～認定!!」

(公財)日本医療機能評価機構による病院機能評価の最新基準である「一般病院2<3rdG:Ver.1.0>」を平成26年5月22日～23日の2日間にわたり受審し、一定基準以上の機能が認められるとして、8月1日に認定証が発行されました。

病院機能評価は、医療を提供するための基本的な活動が適切に実施されているかどうかを診療、看護、管理各分野の評価調査者が中立・公平な立場で「患者中心の医療の推進」「良質な医療の実践1、2」「理念達成に向けた組織運営」から構成される4領域88の評価項目を用いて、病院組織全体の運営管理および提供される医療について評価されるものです。

それぞれの部門の業務管理体制や、チーム医療の確立が評価されました。また、学会や研修会参加を促す経済的支援、医療への患者参加を促す取り組み、「医療なんでも相談室」の設置、売店やレストランなど生活延長上の設備、心臓リハビリカンファレンスへの管理栄養士の参画、地域住民や地域の医療介護機関を対象にした講演・研修会の開催、全病棟への専任薬剤師の配置や地元保険薬局との薬薬連携、ドクターカー事業、敷地内禁煙の徹底や禁煙外来診療といった部分が高く評価されました。

文責：総務人事課 河合 裕

中津川市民病院出前医療講座のお知らせ

市民病院に勤務する医師が市内の3カ所に出向いてお話しを聞いていただく、出前医療講座も第6シリーズとなりました。

11月からは循環器内科部長の松下医師による「足の動脈硬化にご注意を」が始まります。生活習慣の欧米化に伴い、「閉塞性動脈硬化症」という病気が増加しています。「歩くと足が痛い(少し休むとまた歩ける)」、「足がしびれたり、冷たくなる」、「整形外科では特に異常ないと言われた」、「動脈硬化があると言われた」などの経験がある方やご家族の方は、是非ご参加ください。また、将来医療職を目指す人にも、現代医療の実態がわかると思います。

日程・場所は以下の通りです。入場は無料です。

講師：松下悦史 (中津川市民病院循環器内科部長)

演題：「足の動脈硬化にご注意を
～早期診断の必要性和治療について～」

平成26年11月14日(金)

19:00～20:30 中津川健康福祉会館多目的ホール

平成27年1月30日(金)

19:00～20:30 川上：かたらいの里

平成27年2月20日(金)

19:00～20:30 蛭川：蛭川公民館



中津川市民病院
出前医療講座のお知らせ

こんな方は注意!!
足の色が悪い・歩くと足が高い・足が冷たい・糖尿病

どうみたくこうか
あし
足の動脈硬化
にご注意を

～早期診断の必要性和治療について～
入場無料!

講師
中津川市民病院 循環器内科部長
松下悦史 先生

日時・会場
平成26年11月14日(金)19:00～20:30
中津川市健康福祉会館多目的ホール
平成27年1月30日(金)19:00～20:30
中津川市川上:かたらいの里
平成27年2月20日(金)19:00～20:30
中津川市蛭川:蛭川公民館

問合せ 中津川市民病院 総務人事課 (☎0573-66-1251)

中津川市民病院各科診療担当医表

平成26年11月1日現在

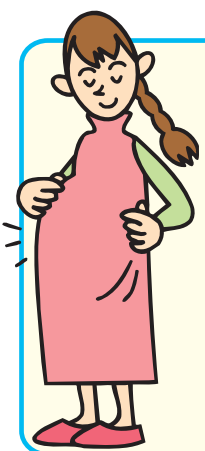
		月	火	水	木	金
内科	一診(循環器)	山内	林	松下	松下	林
	二診(消化器)	亀山	大塚	佐橋	亀山	大塚
	三診(腎臓・他)		古林 (腎臓)	山内 (循環器)	田中 (腎臓)	PM石田 (血内)
	四診(総合診療再診)	高橋	船橋	丹羽	藤崎	船橋
	五診(呼吸器・他)	A 木村(呼吸器) M (検診のみ)	宮崎 (呼吸器)		内藤 (代謝)	松下 (呼吸器)
	六診(内分泌・他)		大竹 (内分泌)	ペースメーカー クリニック (第1・3)	中島 (内分泌)	PM隔週 (禁煙外来)
	七診(消化器)	佐橋	藤原		西尾	西尾
	八診(総合診療初診)	船橋	藤崎	高橋	丹羽	高橋
	透視			西尾・大塚 藤原		佐橋
	内視鏡 AM	西尾・大塚	亀山	西尾・大塚 藤原	佐橋・藤原	加藤
PM	桑原・大塚 西尾・藤原	亀山・佐橋 西尾・藤原	大塚・亀山 西尾・藤原	佐橋・洗井 大塚・藤原	加藤・亀山 佐橋・藤原	
透析	血液浄化センター	田中・古林		田中・古林		田中・古林
神経内科	一診	飯塚	今村	伊藤	今村	伊藤
	二診	曾根	本田	米山	岡田	飯塚
小児科	一診	安井		安井	安井	
	二診	藤原		加藤 (循環器)		杉山
	三診	小川 (神経)	小島	安藤	北瀬	小島
	午後一診	安藤	安井		安井 (アレルギー)	
	二診	予防接種				杉山
三診	予防接種	予防接種	乳児健診		小島	
四診	中野					
外科	一診	西	西	藪崎	田中	藪崎
	二診	藪崎	田中	田中	関谷	関谷
	内分泌乳腺外科 午後2時		関谷			
	心臓血管外科 第1・第3火曜日 午後1時		徳田			
脳神経外科	一診	山本	吉本	出口	非常勤	椎名
	二診	口脇				

		D	P	+		T
健康管理センター		/yœ	f{	o	sy\	
歯科 口腔外科	一診	齊藤	澤木	川口	齊藤	川口
	二診	畑中	齊藤	畑中	澤木	畑中
	三診		川口		川口	齊藤
泌尿器科	一診	田中	彦坂/ 日下	田中	田中	田中
	二診 10時	彦坂			彦坂	
整形外科	一診	丸山	古川	酒井	丸山	加納
	二診	加納	新海	古川	酒井	関
	初診	古川/ 酒井	酒井/ 加納	丸山	加納	古川
形成外科				鳥山/ 高成		
産婦人科	初診/再診	篠原	風戸	風戸	篠原	風戸
	妊婦診	風戸	諸井	篠原	助産外来	一杉
眼科	一診	岡田	岡田	岡田	岡田	岡田
	二診	水谷	水谷	水谷	水谷	水谷
耳鼻いんこう科	一診	加藤	加藤	中山	中山/ 加藤	中山
	二診	中山	中山	加藤	岩田	加藤
	一診午前					中山
	二診午後					加藤
皮膚科	一診	後藤	後藤	室	後藤	小川
放射線科	放射線治療			伊藤		
	読影(午前)	松原	松原	松原	松原・桜井	松原 泉・北川
	読影(午後)	松原	松原	松原	松原	松原 松原
検査科(病理)			豊國			伊藤
心療精神科	一診	今井	森	非常勤	森	非常勤
心理相談	一診	中西	中西	中西	中西	中西
	二診	袴田			袴田	袴田
阿木診療所	午前		丹羽		高橋	
	午後		丹羽		高橋	弓倉

この色表示の氏名は、非常勤を示しています。

※担当医は予告なく変更する場合がございますので、予めご了承願います。

産婦人科 助産外来：火・金 14:00 一ヶ月健診：水 14:30 母親学級(後期)：木 14:00 子宮頸がん予防ワクチン接種：木 14:00 子宮頸がん精密検査：月・木 15:00	小児科 神経外来診察：月曜日 午前9:00~11:30 (予約制) 循環器外来診察：水曜日 午前9:00~11:30 (予約制) 慢性疾患外来：火曜日 午後3:00~ (予約制)	心療精神科 診察：森 火曜・木曜 10時~12時
---	--	------------------------------------



平成27年4月から里帰り分娩ができるようになりました。
詳しくは、産婦人科外来へお問い合わせください。

わたくしどもの理念

患者さまの立場を十分理解し
質の高い医療を目指します

1. 地域医療における役割強化に努めます。
2. 患者さまの権利を尊重し、満足度向上を進めます。
3. 知識や技術向上のための教育強化に努めます。
4. 協働意識の醸成やコミュニケーションを図ります。
5. 健全経営を確立します。